

## 参考 チムケン法改正の主な背景と結論

旧JIS K 2519-1987のうちチムケン法は、ASTM D 2782を参考として規定されているが、ASTM D 2782は1982年テストピースに係る規定の改正を行った。すなわち、ASTMでは、従来Timken社製のテストピースを規定していたが、当社は1982年その製造を中止したため、これを継承したFaville-Levally社（通称Falex社）製のものを使用するよう改正を行ったものである。しかしながら、Falex社製は従来のTimken社製のものと試験結果において著しい差が出ることで、1983年初めごろから判明し、ASTMにおいても問題の指摘を受けてFalex社は1年余にわたり改良を重ねてきた結果、1984年末に至り、Falex社はようやく従来のTimken社製に匹敵するテストピースが完成したとの報告を行った。

また、同じ時期に国内においても従来のTimken社製に匹敵するテストピースが開発されたとの情報が得られた。

我が国においてもJIS K 2519でチムケン法のテストピースについては、Timken社製が規定されており、現在、Falex社が唯一の供給元であることを勘案すると実証データの収集も含めその対応が必要となってきた。

そこで、改良されたFalex社製と国内で開発された日本テストパネル工業社製のテストピースについて数度にわたる検証実験を行い、次の結論を得るに至った。

1. Falex社製試験カップは、製造ロットによって、従来のTimken社製のものと試験結果に著しい差があることから、JIS K 2519-1987に採用できなかった。（解説参考表1参照）

解説参考表1 Favalex社製テストピースの試験結果

試験ブロック、ロット番号	4						備考
	16			26, 27			
試験カップ、ロット番号	a	b	c	A	B	C	
試料の種類							
試料のOK値、平均lb	16.9	36.2	55.9	11.9	29.2	70.5	
Timken社製とのOK値の偏りlb	0.2	1.2	-1.6	-14.3	-17.0	5.5	
繰返し性許容差	%	27	33	14	37	20	15
							ASTM D 2782 22 %以下
再現性許容差	%	—	—	—	50	48	43
							55 %以下

2. 日本テストパネル工業社製テストピースは、石油連盟との共同開発によってようやく、従来のTimken社製に匹敵する試験結果が得られるものの開発に成功した。（解説参考表2参照）

解説参考表2 日本テストパネル工業社製及びTimken社製  
テストピースの試験結果

テストピースの製造メーカー	日本テストパネル工業社			Timken社			
	A	B	C	A	B	C	
試験ブロック、ロット番号	ES 6			不明			
試験カップ、ロット番号	ES 6			AN, CJ, CT			
試料の種類							
試料のOK値、平均lb	25.6	48.3	65.0	26.2	46.2	65.0	
繰返し性許容差	%	25	22	22	29	20	15
再現性許容差	%	34	29	22	50	48	43

3. 国内で開発した日本テストパネル工業社製のテストピースの表面粗さ、表面硬さなどの物性値は解説参考表3の

とおりである。

解説参考表3 チムケン法テストピースの規格値

規格	試験ブロック			試験カップ			
	JIS K 2519 -1987	JIS K 2519 -1980	ASTM D 2782 -1982	JIS K 2519 -1987	JIS K 2519 -1980	ASTM D 2782 -1982	
幅	mm	12.27~12.37	12.27~12.37	12.27~12.37	13.05~13.15	13.05~13.15	13.01~13.11
長さ	mm	18.64~19.46	18.64~19.46	18.64~19.46	—	—	—
円周	mm	—	—	—	154.28~154.74	154.28~154.74	154.28~154.74
表面粗さ (Ra)	μm	0.35~0.55	0.5~0.8	0.51~0.76	0.35~0.55	0.5~0.8	0.51~0.76
表面硬さ (HRC)		61.5~63.5	58~62	58~62	61.0~63.0	58~62	58~62
表面硬さ (HV)		780~840	654~746	653~756	740~800	654~746	653~756
同心円度	μm	—	—	—	13以下	13以下	13以下

備考1. JIS K 2519-1987の数値は1987年版で新たに設けた規格値であって、JIS独自のものである。

2. 日本テストパネル工業社製以外で上記規格値を満たしても、OK値の偏りや精度を確認したうえで使用することができない。しかし、今後は複数社によるテストピースの供給が可能となるよう適時検証実験を行い、拡充していく必要がある。

4. 試験カップ及び試験ブロックの品質と検査方法について 品質及び検査方法は、附属書を新たに設け検査方法を標準化することによって、品質の信頼性向上を図った。

(1) 試験カップの品質（解説参考表4参照）

解説参考表4 試験カップの物性値

	JIS K 2519 -1987	日本テストパネル工業社製 製造ロット ES 6	Timken社製	Falex社製		
				製造ロット 16	製造ロット 26, 27	
幅	mm	13.05~13.15	13.12~13.14 13.13	13.07~13.15 13.11	12.99~13.07 13.03	12.95~13.08 13.03
円周	mm	154.28~154.74	154.61~154.61 154.61	154.61~154.66 154.63	154.28~154.80 154.50	154.37~154.69 154.48
中心線平均粗さ (Ra)		0.35~0.55	0.37~0.53 0.45	0.49~0.58 0.53	0.51~0.65 0.58	0.43~0.86 0.65
表面硬さ (HRC)		61.0~63.0	61.4~62.9 62.0	60.6~62.3 61.3	62.2~63.1 62.6	59.8~62.8 61.5
表面硬さ (HV)		740~800	760~788 772	749~798 767	760~779 769	707~793 756
同心円度	μm	13以下	1~12 6	12~20 16	4~15 9	10~17 13

備考 数値の下に印してある 線は、JIS K 2519-1980、ASTM D 2782の規格から外れたもの。

(2) 試験ブロックの品質（解説参考表5参照）